

# 平成18年度事業報告書

自: 平成 18 年 4 月 1 日 至: 平成 19 年 3 月 31 日

## 1. 全般

- (1) 本年度は学会の理念・ビジョン及びコアコンピタンスを制定し宣言して、本学会が実装技術の柱であることを内外に示した。JIEP 発展構想委員会による施策を具体的に展開することにより、学会の独立性、透明性、健全性を高め、国際化を図った。
- (2) Webを活用した情報発信・情報交換の更なる強化によって会員サービスの充実を図り、会員増強につなげた。
- (3) 国際交流活動の推進を通して、技術ならびに情報の交流の活性化を実行した。
- (4) 関西、九州地区で地域独自事業の活発化によって、地域における情報発信・情報交流を活性化し、中小企業の活動支援と共に、会員の拡大を図った。
- (5) 各種事業の運営費用削減努力、および事務局費の節減で財務の健全化を図った。
- (6) 本年度は功績賞を牧本次生氏に贈ることを決めた。

## 2. 国際会議・学術講演大会・展示会等の開催 (定款第 4 条第 1 号関係)

### (1) 国際会議「ICEP 2006」の開催

IEEE CPMT Japan Chapter と共催で第 10 回目の国際会議を 4 月 19 日～21 日の 3 日間、品川プリンスホテルにおいて開催。

「Click the Exciting JISSO !」をテーマに海外 25 件 (内、招待講演 1 件、フォーカストセミナー 1 件) を含む総計 76 件の論文発表。国際交流会開催。論文集 (A4 判・418 頁)。参加者数 279 名 (内、海外 48 名)。

### (2) 2006 マイクロエレクトロニクスショー (2006 ME Show) の開催

5 月 31 日～6 月 2 日、「最先端実装技術・パッケージング展」と称して、東京ビッグサイト東展示場において開催。「最先端実装技術シンポジウム」を併催。

出展社数 40 社、131 小間と、小間数は昨年度よりほぼ同等。展示会来場者数 118,806 名 (JPCA Show 2006 を含む全会場の延人数)、全登録者数 35,812 名 (JPCA Show 2006 を含む)。

最先端実装技術シンポジウムの聴講者数は 3 日間で 683 名。

### (3) 第 21 回エレクトロニクス実装学会講演大会の開催

3 月 14 日～16 日の 3 日間、東京都新宿区の早稲田大学大久保キャンパスにおいて開催。特別講演 2 件、招待講演 10 件、一般講演 108 件で計 120 件の講演発表が行われた。

論文集 (A4 判・238 頁)。参加登録者数 722 名。

### (4) 先端技術セミナーの開催

#### ① 第 41 回定例セミナー

「実装技術を支える最新めっき技術」をテーマに 7 月 10 日、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。

講演件数 7 件。参加者数 62 名。

#### ② 第 42 回定例セミナー

「部品内蔵基板の最新技術動向」をテーマに 11 月 13 日、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。

講演件数 6 件。参加者数 141 名。

#### ③ 第 43 回定例セミナー

「ユビキタス社会を支えるモバイル機器実装最前線」をテーマに 2 月 14 日、東京・中央大学駿河台記念館で開催。

講演件数 6 件。参加者数 43 名。

- (5) 第16回マイクロエレクトロニクスシンポジウム (MES 2006) の開催  
10月26日～27日、大阪府吹田市・大阪大学コンベンションセンターにおいて開催。86件の論文発表 (一般発表84、招待講演2)。  
論文集 (A4判・350頁) 発行。参加者数603名。
- (6) 関西支部の活動
- ・6月20日: 第4回若手研究会セミナー「鉛フリーはんだ実装部の信頼性評価」(大阪大学中之島センター)。講演件数4件。参加者数47名。
  - ・11月17日: 第4回見学会/技術講演会 三菱電機(株)名古屋製作所で、技術講演会と同工場見学会を開催。参加者数47名。
  - ・12月15日: 第3回技術講演会「高速高周波配線板の最新動向」(大阪大学中之島センター)。講演件数4件。参加者数43名。
  - ・19年1月24日: 第5回若手研究会セミナー「先進実装に用いられるめっきプロセスの基礎」(甲南大学先端生命工学研究所)。講演件数3件。参加者数56名。
  - ・支部組織を強化し運営の活発化を図った。
- (7) 九州支部の活動  
九州半導体イノベーション協議会、デバイス実装研究会、半導体実装国際ワークショップ MAPなどを支援するとともに、JIEPパンフレットを配布して、会員の勧誘を行った。

### 3. 調査・研究活動 (定款第4条第2号関係)

#### (1) ワークショップの開催

##### ①2006 ワークショップ (修善寺) の開催

9月7日～8日の1泊2日で、ラフォーレ修善寺ホテル棟において開催。「グローバル競争を勝ち抜く先進実装技術」をメインテーマとし、サブテーマに“製品競争力とコスト力を生み出す実装技術”と題し、33件の発表(ポスターセッション)と2件の特別講演。参加者数134名。

##### ②関西ワークショップ 2006 の開催

2007年2月9日、京都市中京区、コープ・イン・京都において開催。「実装革命、新しいものづくりへの提案」をメインテーマとし、18件の発表(ポスターセッション)と2件の特別講演。参加者数95名。

#### (2) 技術委員会の開催事業

##### ①材料技術委員会公開研究会の開催

・11月1日: 国立オリンピック記念青少年総合センター  
“インテリジェントカーを支える実装材料の動向” 講演8件 参加者数129名

##### ②電磁特性技術委員会サマーセミナーの開催

・8月30日: 中央大学駿河台記念館  
“高速デジタル時代の妨害・誤動作・イミュニティ” 講演9件 参加者数158名

##### ③信頼性解析技術委員会シンポジウムの開催

・2007年3月6日: 回路会館  
“ハイブリットカーや省エネルギー機器のコアとなるパワーエレクトロニクスの実装技術と信頼性に関する討論会” 講演5件 参加者数65名(内、プレス関係者1名)

#### (3) 公開研究会の開催

##### ①ナノテク材料研究会

・7月21日: キャンパスイノベーションセンター国際会議室  
講演3件 参加者数23名  
・9月15日: キャンパスイノベーションセンター国際会議室  
講演3件 参加者数36名

- ・2007年1月12日：キャンパスイノベーションセンター国際会議室  
講演3件 参加者数27名
- ②システム実装CAE研究会
  - ・6月1日：東京ビッグサイト  
“システム実装を支える設計・シミュレーション技術” 講演5件 参加者数37名
  - ・12月1日：回路会館  
“システム実装を支える設計・シミュレーション技術設計・トラブル防止のためのシミュレーション適用事例” 講演5件 参加者数59名
- ③超高速高周波エレクトロニクス実装研究会
  - ・5月19日：回路会館  
講演7件 参加者数37名
  - ・8月4日：東京電機大学  
講演6件 参加者数33名
  - ・11月17日：回路会館  
講演6件 参加者数60名
  - ・19年2月16日：回路会館  
講演6件 参加者数76名
- ④マイクロファブ리케이션研究会
  - ・5月16日：回路会館  
“エレクトロニクス機器のマイクロファブ리케이션を支える材料技術”  
講演6件 参加者数92名
  - ・9月22日：回路会館  
“FPCの最新動向とマイクロファブ리케이션”  
基調講演1件、講演5件 参加者数97名
  - ・12月21日：回路会館  
“金属ナノ粒子を応用したマイクロファブ리케이션”  
基調講演1件、講演4件 参加者数113名
- ⑤ビルドアップ配線板研究会
  - ・10月11日：回路会館  
“放熱技術(実装設計、放熱基板、放熱材料)の最新動向”  
基調講演1件、講演3件、活動報告1件 参加者数81名
  - ・19年2月26日：回路会館  
“電子機器実装分野の技術者 進む方向と課題”  
基調講演1件、講演2件、活動報告1件 参加者数99名
- ⑥先進実装技術研究会
  - ・9月28日：横浜国立大学・共同研究推進センター  
講演5件 参加者数48名
  - ・11月6日：回路会館  
講演5件 参加者数80名
  - ・11月21日：横浜国立大学・中央図書館  
講演4件 参加者数103名
  - ・19年1月12日：横浜国立大学・教育文化ホール  
講演4件 参加者数61名
  - ・19年3月6日：横浜国立大学・教育文化ホール  
講演6件およびポスターセッション 参加者数56名

⑦電子部品研究会

- ・5月22日：回路会館  
講演5件 参加者数73名
- ・12月6日：回路会館  
講演5件 参加者数52名
- ・19年3月22日：回路会館  
講演5件 参加者数65名

⑧光回路実装技術研究会

- ・6月2日：東京ビッグサイト  
講演4件 参加者数36名
- ・9月15日：回路会館  
講演4件 参加者数63名
- ・11月16日：回路会館  
講演4件 参加者数47名

⑨エコデザインと実装研究会

- ・6月2日：東京ビッグサイト  
“電気・電子グリーンプロダクトと企業の環境戦略”  
講演5件 参加者数61名

**4. 普及・啓発活動**（定款第4条第3号関係）

(1) 実装技術総合講座

11月29日～30日 食糧会館 受講者29名

(2) PWB製造技術講座(入門コース & 中級コース)

11月21日～22日 回路会館 受講者9名

(3) EMC設計技術実践講座

10月24日～19年3月27日の期間に計6回 回路会館 受講者46名  
(最終講義は、19年4月24日に開催)

**5. 情報収集及び提供活動**（定款第4条第4号関係）

・「エレクトロニクス実装学会誌」の発行

Vol.9-No.3～7、Vol.10-No.1～2の計7冊を発行。内、Vol.9-No.5は全冊特集号。総頁数648頁。

**6. 内外機関等との交流・協力活動**（定款第4条第5号関係）

(1) WLC-ALC会議の開催

4月20日(ICEP20062日目)、アジアならびに欧米からの各国代表者が参加して開催し、情報交換を行った。

※本会議は、ワールド連絡委員会(World Liaison Committee, WLC)とアジア連絡委員会(Asia Liaison Committee, ALC)との合同会議であり、ALCを発展させて改称したもの。

(2) IMAPS World Liaison Committee に参加

10月9日、米国 San Diego で開催された IMAPS 2006 の会期中に開催。欧・米・アジア間の協力について議論した。

(3) IMAPS Korea(韓国)との交流

実装関連団体の交流強化の一環として推進(ICEP2007の会場で調印式の予定)。

(4) 「エコデザイン2006 アジアパシフィックシンポジウム」開催に協力

12月11日～13日、東京 学術総合センター・一ツ橋記念ホールほかにおいて開催された、エコデザイン学会連合主催の標記シンポジウムに協力。JIEPセッションを開催(12/12)。

(5) 2006 JPCA ショーとのコラボレーション

5月31日～6月2日、東京ビッグサイトにおいて開催のJPCA Show 2006に合わせ、2006マイクロエレクトロニクスショーを同時に開催。最先端実装技術シンポジウムを併催。また、公開研究会も開催。

(6) 関連学協会の各種事業に協賛

【協賛】

1. 第4回レーザ先端材料加工国際会議、レーザ加工学会、2006年5月16日～19日、京都リサーチパーク
2. 第23回電気接点国際会議、電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティ、2006年6月6日～9日、仙台国際センター
3. 2006年度マイクロメカトロニクス学術講演会、日本時計学会、2006年9月8日、中央大学理工学部
4. 腐食防食協会第41回技術セミナー、2006年8月24日、東京工業大学百年記念館
5. 2006実装プロセステクノロジー展、日本ロボット工業会、2006年10月4日～6日、幕張メッセ-展示ホール
6. 表面技術 稲門会 第6回最新表面技術セミナー「半導体における三次元高密度実装の現状」、2006年11月8日、早稲田大学理工学部
7. 「東京工業大学精密工学研究所知財シンポジウム 2006 - 半導体における知財戦略」、2006年11月10日、はまぎんホール
8. 日本時計学会 2006年秋季研究会 2006年11月10日、湘南工科大学
9. 日本印刷学会 2006年度E & S研究会セミナー、2006年11月16日、日本印刷会館
10. 腐食防食協会 腐食防食入門講習会、2006年11月27日、きゅりあん 6階 大会議室
11. 第10回システムLSIワークショップ、2006年11月27日、北九州国際会議場
12. 電子回路基板技術振興財団第2回シンポジウム、電子回路基板技術振興財団、2006年11月30日、リーガロイヤルホテル東京
13. IEEE CPMT Society Japan Chapter、東京大学電子実装工学研究所 IEEE Polytronic 2007、2007年1月16日～17日、日本科学未来館
14. 平成18年度KAST教育講座 [マイクロソルダリング実装技術]、2007年1月16日、かながわサイエンスパーク
15. ODF'06 (5th International Conference on Optics-photonics Design & Fabrication)、2006年12月6日 - 9日、奈良県新公会堂
16. 電子情報通信学会電子部品・材料研究専門委員会(CPM) 研究会、2007年1月18～19日、機械振興会館
17. Mate 2007 - 13th Symposium on "Microjoining and Assembly Technology in Electronics"、2007年2月1日～2日、パシフィコ横浜
18. 財団法人神奈川科学技術アカデミー 平成18年度KAST教育講座「めっき技術の最先端と新展開」、2007年2月26日～26日、神奈川サイエンスパーク研修室
19. 日本時計学会 2007年度 春季研究会、2007年3月16日、中央大学
20. 技術研究組合超先端電子技術開発機構 国際フォーラム「International 3D System Integration Conference 2007」、2007年3月26日～27日、一ツ橋記念講堂

**\* 19年3月31日現在 会員数**

正会員 2,950名 (前年同期比 43名増)  
学生会員 137名 (前年同期比 8名増)  
賛助会員 222社 (前年同期比 増減なし)